

人のあかし2014 制作ニュース

第1号 発行日=2月25日

初演のアンケートより

- 「渡部さん他役者の方の演技が迫真で、軍国の兵隊から『鬼』へと変化していく過程が本当によくわかりました」(狛江市・30代男性)
- 「小学校3年の子どもと観にきました。今、中国・韓国が日本に対して何故怒りを表しているのか、私もこの劇でわかりました」(30代・女性)
- 「重いテーマを柔らかい山形弁で演じておられ、とてもよかったです」「涙なしには見られなかった。「尖閣」に揺れるこの時期に、よくこの問題を取り上げてくださいました。(77歳・女性)
- この事実を子どもたちに伝えたい。(60代男性・中原区)
- 人間への信頼あふれる中国の判決には涙が止まりませんでした。東アジアの平和をお互いの信頼で構築したいと切に思います。(横浜市・港北区男性)

昨年他界した京浜協同劇団の舞台美術を一筋に頑張っていた佐藤張二(チョンさん)を思い出します。<写真=右>
今回の装置も彼のプランを再び使うことにしました。装置家は台本から作品が要求する舞台を考え形象する裏方の仕事、何も無いのが一番良いと言っていた張さんのしごとには、芸術家の哲学があったように思います。
チョンさんありがとう。今回もきっと何処かで観てるんでしょうね。(合掌)

上演日程	川崎(スペース京浜)	横浜(神奈川芸術劇場)
2014年4月	11(金) 12(土) 13(日)	25(金) 26(土) 27(日)
昼の部 2:00	★	★
夜の部 7:00	★	★

● 申込み受付中 (川崎: 限定110席・横浜: 200席)

若い人たちには割引料金で観劇いただけます。
今回ユース(30歳以下)¥2,000を設定しました。

今だからと再演を決意

虫も殺さぬ優しい青年が戦場で鬼になり、再び鬼から人間に戻るこの作品は、加害者の立場からこの国の本当の歴史を見つめています。

今だからこそ再び上演することが演劇に携わる私たちの使命と感じながら、日々の稽古に励んでいます。

脚本の和田庸子が新たに加筆し配役も新人の参加でリニューアルしました。

「人のあかし2014」の上演が、歴史の真実を一人でも多くの人に知って頂き「鬼にはなるな」と言い残して亡くなった土屋芳雄さんの思いを受け継ぐことにつながればと願っています。

【演出・藤井康雄(劇団代表)】

期待していますヨ!

<推薦団体> (敬称略)

- 神奈川県労働組合連合
- 横浜地区労働組合協議会
- 日本中国友好協会神奈川連合会
- 横浜演劇鑑賞協会
- 川崎さいわい市民劇場
- 川崎市民劇場なかはら
- 全日本年金者組合神奈川県文化部
- 第56回川崎母親大会実行委員長 杉原こと
- 治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟神奈川県本部

出演者からのメッセージ!

今後何回かに分けて掲載します。まずは...

戦犯の佐野役の長谷川怜です。入団してそろそろ1年、まだ新人です。何もかも足りなくて稽古は毎回緊張してチャレンジしています。KAATの公演は僕の地元。横浜の友人たちよ、必ず観に来てくれ!【長谷川怜】



今回3度目の客演です。この作品に出る事になって、初めて知る様々な真実に衝撃を受けています。そして1人でも多くの方に知ってもらおうお手伝いを、役者として出来れば良いと思います。【新角奈津子】



私が入団を申し込んだのが実は「人のあかし」初演を観に来た時でした。「臨界幻想」上演や「撫順の奇跡」を芝居にする劇団に魅力を感じたのです。

今回、観る側から、この場所でこの人々と演ずる側になっていることに喜びを感じています。

あっ、台詞早く覚えなきゃ。【岡野三郎】



※ 初演の舞台美術 佐藤張二の遺作となりました。

創立1959年 この日この地でこの人々と

京浜協同劇団

〒212-0052 川崎市幸区古市場2-109

http://keihinkyoudougekidan.com/

☎ 044-511-951 fax 044-533-6694